

普及誌愛行カゴを取り付けて

十数年前に主人と義母を続けて霊界に見送り、暫くは色々と考え込む日々でしたが、母から伝えられた生長の家を離れてはいけないという思いがずっと心にありました。「どなたかのお役に立ちたい」という気持ちが湧いてきて若学のお手伝いをするようになり、今は地区連会長のお役を頂き活動しています。

2年程前に教化部で普及誌の愛行カゴの事を聞き、これなら自分にもできると思い早速購入して門の所に取り付けました。そしてビニール袋に入れた普及誌を何冊かかごの中に入れておきます。去年からは以前の子供カレンダーのかわいいイラストと真理の言葉を活用してその季節に合ったものを貼り付け工夫しています。



カゴの普及誌は時には3部ずつ3日位続けて無くなることもあり、どなたかが読んでおられると思うと生長の家をお伝えできる喜びが湧いてきます。

きっと、霊界から主人や義母が応援してくれていると思うと感謝の気持ちにも満たされます。これからもご縁のある方に普及誌をお渡しして生長の家をお伝えしていきます。

(尼崎 M・H)